

学校生活の状況について

標記の件について、下記のとおり報告します。

- 1 令和5年度「いじめ調査」(2回目)の結果について P 2～3
- 2 城陽市立小学校「放課後子ども教室」等における地域との
連携・協働について P 4
- 〈参考資料〉11月～1月の生徒指導上の事象について P 5～7

令和5年度「いじめ調査」(2回目)の結果について

<令和5年度2学期末(11月~12月)実施>

1 いじめ調査(2回目)の調査結果

【**言忍**矢口】 他の児童生徒からの言動等により、心身の苦痛を感じたもの(いやな思いをしたもの)

学年 (調査数)	小1年 533人	小2年 566人	小3年 564人	小4年 562人	小5年 585人	小6年 583人	小合計 3,393人	中1年 597人	中2年 591人	中3年 603人	中合計 1,791人
認知件数 (発生率)	99 18.6%	135 23.9%	125 22.2%	94 16.7%	75 12.8%	43 7.4%	571 16.8%	32 5.4%	10 1.7%	9 1.5%	51 2.8%

令和5年度
(1回目) **649**
19.1%

82
4.6%

いじめの 態 様	小学生		中学生	
	① 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	355(380)	44(46)	
	② 仲間はずれ、集団による無視をされる	104(101)	13(6)	
	③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	183(161)	10(9)	
	④ ひどくぶつられたり、叩かれたり、蹴られたりする	102(105)	3(3)	
	⑤ 金品をたかられる	11(4)	1(1)	
	⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	33(16)	1(1)	
	⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをさせられたり、されたりする	64(50)	5(9)	
	⑧ パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる	19(7)	2(1)	
	⑨ その他	0(0)	0(0)	

()の数字は昨年度

【未解消】

- A(要指導) いじめに係る行為が止んでおらず、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
 B(要支援) いじめに係る行為は止んでいるが、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
 C(見守り) いじめに係る行為が止んでおり、被害児童生徒も心身の苦痛を感じていないが、行為が止んでから相当の期間が経っていないもの(相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする)。

	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	小合計	中1年	中2年	中3年	中合計
A 要指導	5	12	16	15	13	13	74	3	2	1	6
B 要支援	10	5	9	19	8	5	56	4	1	3	8
C 見守り	75	113	79	51	53	24	395	25	7	5	37

【**解消**】 いじめに係る行為が相当の期間止んでおり、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないもの(相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする)

学年	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	小合計	中1年	中2年	中3年	中合計
解消件数	9	5	21	9	1	1	46	0	0	0	0

【**重大事態**】 いじめにより、児童生徒の生命、心身・財産に重大な被害が生じたもの又は児童生徒が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされているもの

該当件数なし

2 いじめ調査(1回目)の追跡結果(アンケート実施 R5.7 追跡調査・聞き取り R5.12)

学年 (調査数)	小1年 533人	小2年 566人	小3年 564人	小4年 562人	小5年 585人	小6年 583人	小合計 3,393人	中1年 597人	中2年 591人	中3年 603人	中合計 1,791人
認知件数 (発生率)	88 16.5%	148 26.1%	143 25.4%	115 20.5%	108 18.5%	47 8.1%	649 19.1%	43 7.2%	27 4.6%	12 2.0%	82 4.6%
A 要指導	0	7	4	2	3	4	20	2	0	1	3
B 要支援	0	4	0	0	1	0	5	0	1	1	2
C 見守り	0	4	0	11	12	1	28	1	4	1	6
解消件数 (解消率)	88 100.0%	133 89.9%	139 97.2%	102 88.7%	92 85.2%	42 89.4%	596 91.8%	40 93.0%	22 81.5%	9 75.0%	71 86.6%

令和5年度「いじめ調査」(2回目)の結果について

1 アンケート調査の状況

(単位：校)

	小学校		中学校	
	府様式	独自様式	府様式	独自様式
記名式	10	0	5	0
無記名式	0	0	0	0

2 認知・未解消・解消件数

(単位：件)

	調査数	今回の調査				第1回目の追跡調査					
		認知件数	未解消			解消	認知件数	未解消			解消
			A 要指導	B 要支援	C 見守り			A 要指導	B 要支援	C 見守り	
A		72	28	8	36	0	85	0	0	0	85
B		21	1	11	8	1	26	1	0	8	17
C		75	5	9	41	20	90	3	0	10	77
D		25	0	2	23	0	33	2	1	0	30
E		80	0	0	80	0	80	0	0	0	80
F		63	3	5	45	10	73	2	0	6	65
G		47	0	0	35	12	38	0	0	0	38
H		49	8	2	39	0	57	1	0	0	56
I		112	12	16	84	0	128	1	0	0	127
J		27	17	3	4	3	39	10	4	4	21
小学合計	3,393	571	74	56	395	46	649	20	5	28	596
K		16	5	4	7	0	20	2	1	0	17
L		16	1	2	13	0	15	1	1	4	9
M		11	0	1	10	0	16	0	0	2	14
N		7	0	1	6	0	22	0	0	0	22
O		1	0	0	1	0	9	0	0	0	9
中学合計	1,791	51	6	8	37	0	82	3	2	6	71

3 いじめの態様

(単位：件)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	計
小学校	355	104	183	102	11	33	64	19	0	871
中学校	44	13	10	3	1	1	5	2	0	79

- ① 冷やかしたりからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- ③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ④ ひどくぶつられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- ⑤ 金品をたかられる。
- ⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- ⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- ⑧ パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。
- ⑨ その他

城陽市立小学校「放課後子ども教室」等における地域との連携・協働について

令和6年3月1日
城陽市教育委員会

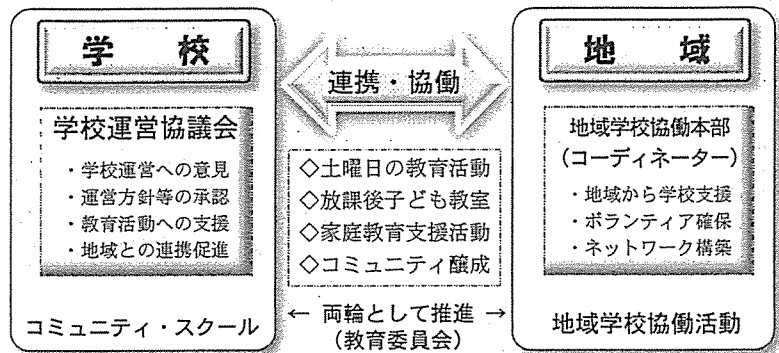
1 学校運営のビジョン - 家庭や地域とのつながり、信頼される学校づくり -

複雑化・多様化する現代社会において、児童生徒の健全な成長を実現するためには、学校はもとより、家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たすことが重要です。そのため、社会総がかりで取り組む教育を進めているところです。

2 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

(1) 学校運営協議会制度 (コミュニティ・スクール)

保護者や地域の方々が学校運営協議会を通じて学校運営に参画するしくみです。協議会委員は、学校運営方針等に助言や承認を行い、地域に開かれたよりよい教育を実現します。



(2) 地域学校協働活動

地域全体で子どもの成長を支えていくために、地域コーディネーターが核となり地域等の参画を得て教育活動を行うしくみです。また、放課後子ども教室等をベースとして、地域住民と子どもが学び合い、地域コミュニティの活性化を図ります。

3 城陽市放課後子ども教室等推進事業

(1) 活動状況

本事業は、コーディネーターの方々を中心に、子どもの興味関心を踏まえ、それぞれの地域の特色や地域の方々の特技を生かした活動が展開されています。

事業名	事業内容	対象学年	※人数
古川小学校放課後子ども教室 H19～	学習(宿題等)、絵画・習字、スポーツ、体験活動	全学年	20人
富野小学校放課後子ども教室 H29～	学習(宿題等)、地域学習、農園学習、スポーツ、読み聞かせ、工作	3～6年生	31人
青谷小学校放課後子ども教室 H30～	学習(宿題等)、スポーツ、読書活動、芸術活動等	2～6年生	16人
久津川小学校放課後子ども教室 R2～	学習(宿題等)、読み聞かせ、英語等	2, 3年生	26人
寺田小学校放課後子ども教室 R6開設	学習(宿題等)、スポーツ、昔あそび、歌唱等	2～6年生	(50人)
寺田南小学校放課後子ども教室 R6開設	学習(宿題等)、スポーツ、地域学習等	全学年	(70人)
久世小学校土曜日子ども教室 H29～	スポーツ、習字、囲碁、将棋、伝承遊び(久世ともだちランド)	全学年	95人

※人数は、教室1回あたりの平均参加人数(令和5年度5月～1月)。また寺田小、寺田南小については令和6年度の参加見込人数。

(2) 評価

多様な学習や体験活動により、子ども達の学びが深まるとともに、放課後等の安全な居場所として機能しています。また、地域住民からの期待や愛情は自己肯定感の高まりと郷土愛の醸成に役立っています。

教育活動を支援するコーディネーター等にとっては、学校を核とした地域のネットワークづくりを通して、自己実現や生きがいにつながっています。

(3) 今後の展望

各コーディネーターの交流会等の研修実施、教育活動に伴う環境整備等、及びボランティアの拡充など、教育活動の充実に向けて継続して支援を行っていきます。

また、未実施の3校区については、地域の自主的かつ持続可能な運営を前提に、活動の核となる人材の確保に向けて関係機関と連携を図りながら開設を目指します。

参考資料

1 1月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数 (令和5年11月1日~11月30日)

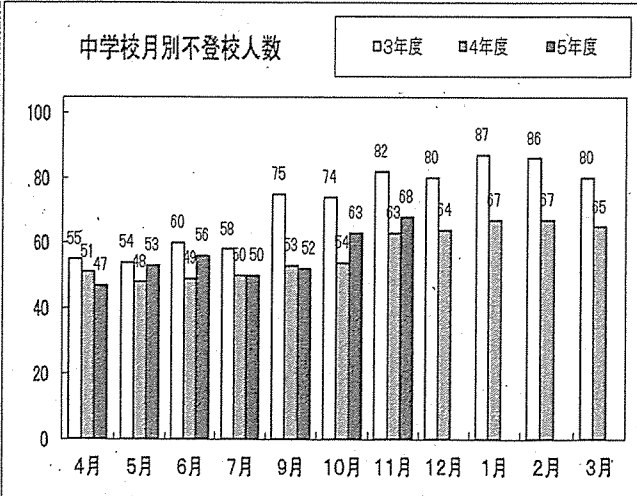
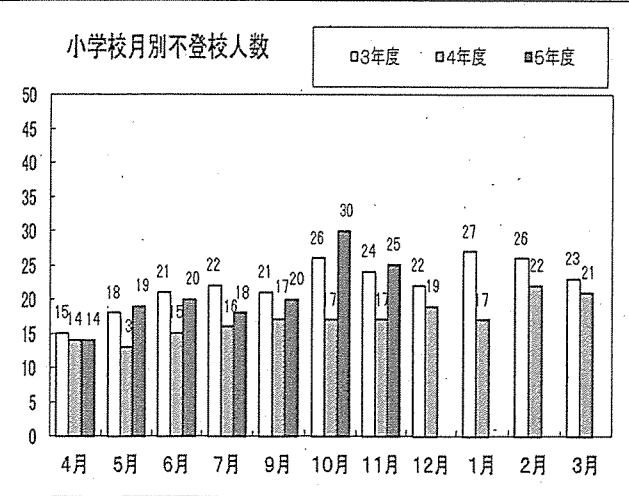
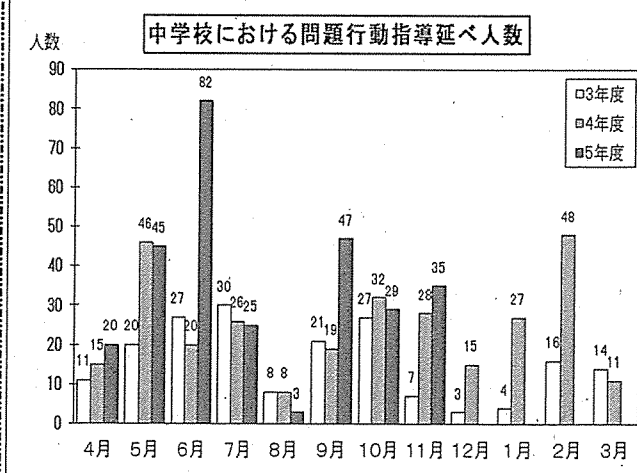
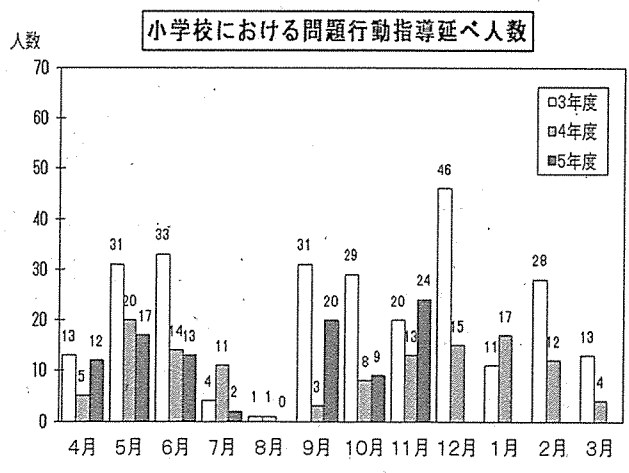
問題行動	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	暴力	器	恐	窃	盗	金	火	喫	飲	薬	悪	無	わ	不	そ					
件数	生徒	対	対	物	万	金	火	喫	飲	薬	悪	無	わ	不	そ					
校種	間	教師	人	損	引	銭	の	煙	酒	乱	質	断	い	純	計					
人数	間	間	間	壊	き	の	持	び	煙	用	不	外	せ	異	他					
小学校	1			1														11	13	25
男	1			1														11	13	14
女																		11	11	11
中学校	1			1														19	21	68
男	2																	24	26	30
女				1														8	9	38

問題行動学年別指導人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		3	1	1	2	6	13	7	13	6	26
女	2		1			8	11	5	2	2	9
計	2	3	2	1	2	14	24	12	15	8	35

不登校児童生徒学年別人数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男			1	1	6	6	14	7	12	11	30
女		1		3	3	4	11	10	13	15	38
計		1	1	4	9	10	25	17	25	26	68



※はぐくみ第450号より抜粋

参考資料

1月の生徒指導上の事象

件数と男女別指導延べ人数（令和6年1月1日～1月31日）

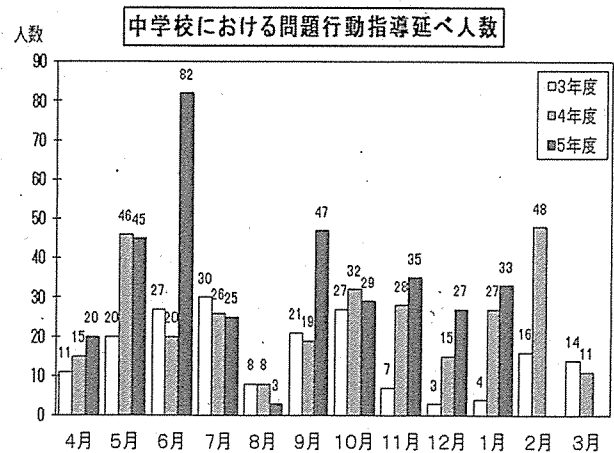
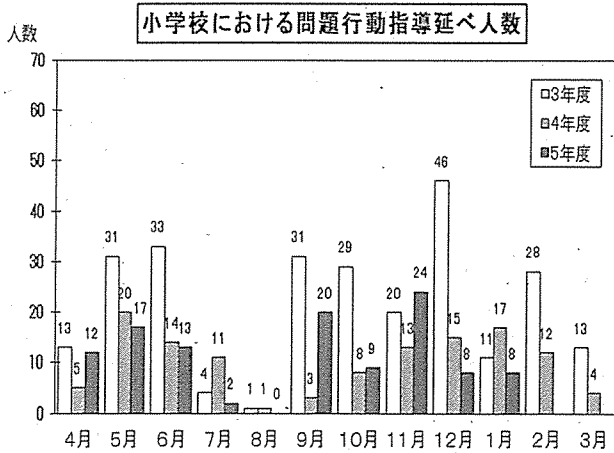
問題行動 件数 校種 人数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19 不登校	20 その他 被害等	
	暴力		器物 損壊	恐 ろ	窃盗 万引き	盗 金・物 品	盗 バイク 自転	金銭の 持ち出 し	火 の 遊 び	喫 煙	飲 酒	薬 物 乱 用	悪 質 な 行 為	無 断 外 泊 ・ 家 出	わ い せ つ な 行 為	不 健 全 性 的 行 為	そ の 他				
	生徒 間	対 教 師																			
小学校																		5	5	24	
男																		8	8	13	
女																				11	
中学校				1														19	20	68	
男				1														26	27	29	
女																		6	6	39	

問題行動学年別指導人数

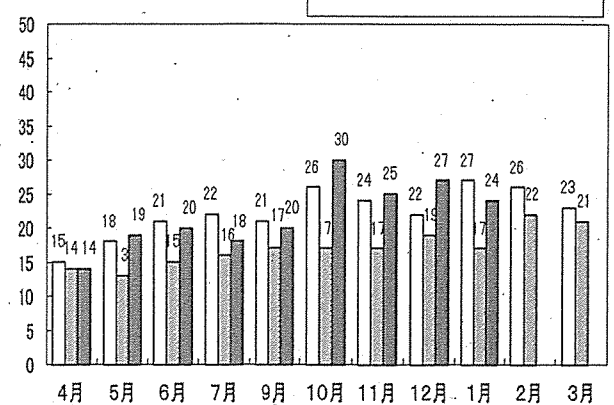
学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		5	2		1		8	12	8	7	27
女								5	1		6
計		5	2		1		8	17	9	7	33

不登校児童生徒学年別人数

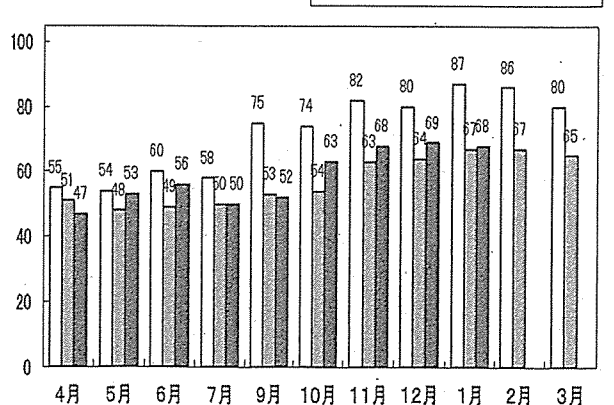
学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計	中1	中2	中3	合計
男		1		3	5	4	13	8	13	8	29
女				3	5	3	11	8	14	17	39
計		1		6	10	7	24	16	27	25	68



小学校月別不登校人数



中学校月別不登校人数



※はぐくみ第452号より抜粋